

厚東川洪水ハザードマップ (想定最大規模) 1

■台風が近づいたり、大雨の予報が出たときに
ハザードマップを使って、いつ、どのような行動をとるかを決めておきましょう。

※台風時には高潮も注意	10m以上の浸水	家屋倒壊のおそれ	●最初に避難場所などの安全な場所へ避難	家屋倒壊等氾濫想定区域 家屋が倒壊するような氾濫流や河岸侵食のおそれがあるため、 早めに避難場所などの安全な場所へ避難
	5~10mまでの浸水	家屋が水没するおそれ		
	3~5mまでの浸水	床上浸水のおそれ	●最初に避難場所などの安全な場所へ避難 ●すでに周囲が危険な場合は、2階以上のより高い場所へ退避	
	0.5~3mまでの浸水	床上浸水のおそれ		
	0.5m未満の浸水	床下浸水のおそれ	●浸水しない安全な場所 ●自宅2階など、高い所へ退避	
浸水想定区域外	浸水が広がる可能性	●積極的な情報収集 ●危険を感じたら、高い所へ退避		
土砂災害警戒区域	かけ崩れや土石流、地すべりの危険	●土砂災害ハザードマップを確認し、早めに安全な場所に避難		

■避難に関する情報
河川の氾濫や土砂災害、高潮の危険があるときには、市などから避難に関する情報が発表されます。情報を確認し、危険な場所にお住まいの方は、早めの避難を心掛けましょう。

警戒レベル 避難情報	みなさんがとるべき行動	避難行動をとる際の判断に参考となる情報 (警戒レベル相当情報)
警戒レベル5 災害発生情報	●既に災害が発生している状況です。 ●命を守るための最善の行動をとりましょう。	●氾濫発生情報 ●大雨特別警戒(浸水・土砂災害)
全員避難 警戒レベル4 ●避難勧告 ●避難指示(緊急)	●速やかに避難先へ避難しましょう。 ●避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	●氾濫危険情報 ●洪水警報の危険度分布(非常に危険) ●土砂災害警戒情報 ●大雨警戒(土砂災害)の危険度分布(非常に危険・極めて危険)
高齢者等は避難 警戒レベル3 ●避難準備・高齢者等避難開始	●避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。そのほかの人は避難の準備を整えましょう。	●氾濫警戒情報 ●洪水警報 ●洪水警報の危険度分布(警戒) ●大雨警戒(土砂災害) ●大雨警戒(土砂災害)の危険度分布(警戒)



■避難のポイント
日頃から避難の手順や重要なポイントを確認しておく、慌てず避難ができます。

- 積極的な情報収集**
台風や大雨のおそれがある時は、テレビやラジオ、防災メール、インターネット等で情報を収集しましょう。
- 避難情報等に注意し、早めの避難を**
危険が迫った時は、市が警戒レベルとともに、避難を呼びかけます。また、テレビやラジオ、防災メールからも避難の情報が流れます。呼びかけがあった場合は、速やかに避難しましょう。
- 持ち物を考えて、2人以上での避難を**
避難するときは、非常持出袋を持ち、動きやすい服装、スニーカー等、脱げない靴で2人以上の行動を心掛けましょう。
- 屋外に出るのが危険な場合は「屋内待機」**
周辺が浸水し、屋外に出るのが危険な場合は、近くの高い建物や自宅の2階以上に避難し、屋内で安全を確保しましょう。
- 家屋倒壊等氾濫想定区域は早期立退き避難が必要**
家屋が倒壊するような氾濫流や河岸侵食のおそれがあるため、屋内待機は危険です。早めに避難場所などの安全な場所に避難しましょう。
- 障害のある方やお年寄りの方には**
情報の取りにくい方
目や耳が不自由で情報の取りにくい方、インターネットなどの情報がとれない方は、ご近所や日頃の支援者などに様子をたずねてみましょう。
- 障害のある方や高齢者の方には**
障害のある方やお年寄りの中には、移動に時間がかかる方がいらっしゃいます。早めに、自らすすんで避難しましょう。避難に手助けが必要な方、避難途中で歩けなくなった時などは、早めに救援を頼みましょう。
- 視覚障害のある方には**
目や耳が不自由な方は、避難する際には、自分からすすんで目や耳が不自由なことを周囲にアピールし、具体的にどうお手伝いが必要なのかを伝えましょう。例えば、「緊急会話カード」をあらかじめ作って持っておくとよいでしょう。

■日頃の備え
災害に備えて、家屋のまわりの見回りや地域とのつながりを大切にしましょう。

家庭でできる簡易水防
浸水が浅い場合には、土のう(なれば水)を設置することで、浸水防止に活用できます。

簡易水防の作り方
ゴミ袋に水を入れる。
ひもやテープでしっかりと縛る。段ボールに入れて固定しやすさ・強度も上がる。

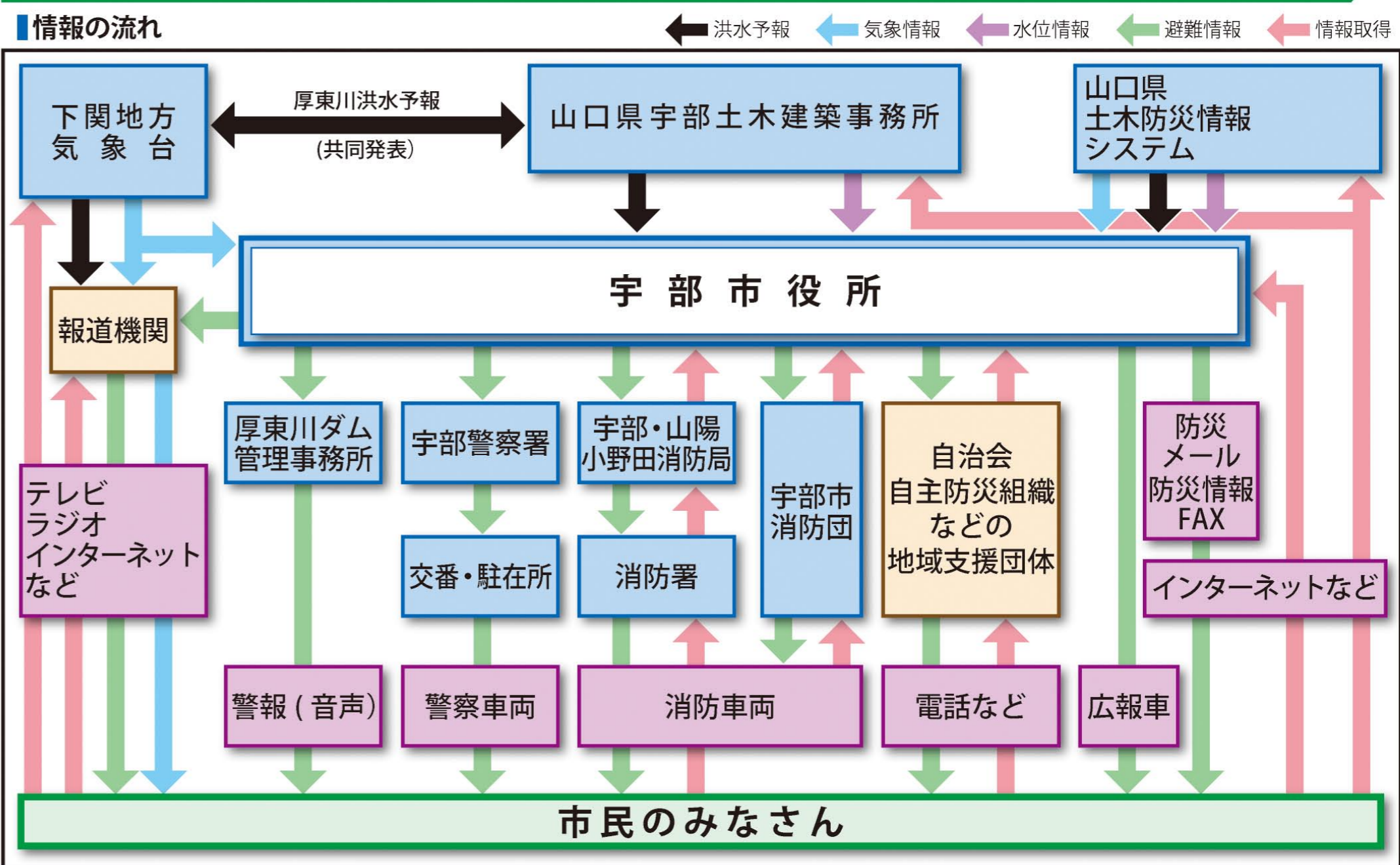
簡易水防①
プランター+ビニールシート

簡易水防②
簡易水防のう+止水板

簡易水防のうを作り、段ボールに入れて固定し、止水板を固定する。

地域の自主防災会の活動に参加しましょう
洪水はもちろん、台風や地震などの災害や火事などによる被害を最小限に食い止め、安全な避難を実現するには、地域ぐるみの防災対策がもっとも有効です。日頃から、自主防災会の防災訓練などに参加したり、市の緊急避難場所へ避難する余裕がないときなどに備えて、近くの安全な場所にある自治会集会所などを地域の一時的な避難場所として決めておきましょう。

■情報を集めよう
災害が発生するおそれがある時には、市や各機関から情報が発信されます。また、インターネット等で情報を積極的に調べることができます。正確な情報をもとに、安全な避難を行いましょう。



■宇部市防災メール・宇部市防災情報FAXサービス

市では、防災情報や災害情報をみなさんに直接伝える手段として、携帯電話やパソコンのメール配信サービスやFAXによる情報提供サービスを行っています。携帯電話は、停電したときにも有効ですので、ぜひ登録しましょう。

●宇部市防災メール(うべメールサービス)
①以下の登録・変更用アドレスに、空メール(件名、本文に何も入力していないメール)を送信します。
(登録・変更用のメールアドレス「ube@xpressmail.jp」)
QRコード対応の携帯電話をご利用の場合、右のQRコードから登録用メールアドレスにアクセスすることができます。

②登録用メールが返信されます。返信メールに記載された利用規約をよく読み、承諾される方は「登録・変更方法」のURLに接続してください。

●宇部市LINE公式アカウント
友達登録はこちらから
※防災情報は全員に届きます

●宇部市防災情報FAX
宇部市防災危機管理課
【FAX(0836)29-4266】まで、「防災情報FAX希望」と明記のうえ、お名前とFAX番号をお知らせください。

■インターネット等からの取得

- 宇部市ホームページ
宇部市ホームページ
- 宇部市の気象データ
宇部市の気象データ
- 下関地方気象台
下関地方気象台
- 国土交通省川の防災情報
国土交通省川の防災情報
- NHK防災アプリ
NHK防災アプリ
- ラジオ周波数
NHK第1放送 102.6kHz(下関)・67.5kHz(山口)
NHK第2放送 135.9kHz(下関)・137.7kHz(山口)
山口放送(KRY)91.8kHz(下関)・76.5kHz(山口)
NHK FM放送 83.3MHz
FM山口(FMY)88.6MHz
KRY FM 92.3MHz
FMきらら 80.4MHz

